

益城町の加速度的な 復旧・復興を願って

益城町議会議長 稲田 忠 則

町民の皆様には、厳しい中での新春をお迎えのことと思いますが、新たな目標に向かってお互いに前へ進んでいきましよう。

日頃から町議会に對しまして温かいご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成28年4月14日午後9時26分、16日午前1時25分、2回の震度7という前代未聞の地震から1年8か月が過ぎましたが、被災された多数の町民の皆様は、今も仮設住宅やみなし仮設住宅での不自由な生活の中、本年の正月を迎えられていることとお察し申し上げます。

発災以来、18名の議員が一丸となって町民の皆様に寄り添い、町民の皆様のさまざまな声に真摯に耳を傾け、被災生活の安定や一日も早い復旧・復興に向けて、時には行政に掛け合い、時には行政と一緒に対応してまいりました。

一昨年の12月議会で益城町復興計画を承認し、町民の皆様を主役とする益城町の復旧・復興事業が開始されております。復興計画は10年計画として今後実施されていくこととなります。町議会と致しましては町民の皆様の生活を第一に考え、今後も行政と一体となって町の復興に取り組んでまいります。

さて、昨年の世

界を振り返ります

と、北朝鮮の度を

超したミサイル開

発や中国の一帶一

路政策による勢力

拡大をはじめ、日本

に影響のある事柄が多々あった年でした。

日本でも、昨年の九州北部豪雨をはじめとし、霧島の新燃岳の噴火など、異常気象による自然災害が拡大しており、特に熊本地震は収まることを知らず、いまだに活発に活動をしています。経済ではインバウンド消費による地方での景気拡大など明るい兆しも見えてきましたが、一方で大企業の不正操作など日本の技術大国としての根幹を揺るがすような事態も出来(おこ)せてきています。

また、国政においては、安倍内閣解散総選挙での政党の離合集散などがありました。自民党の長期安定政権に落ち着きました。県選出国会議員の皆さんにはチーム熊本として、今後ますます復旧・復興に力を注いでいただけるものと期待をしています。

そんな中、益城町はまさに生き残りかけた正念場を迎えているといっても過

言ではありません。

町議会と致しましても、厳しい財政運営のなか、一日も早い益城町の復旧・復興のために、あらゆる部門で皆様のご意見を拝聴しながら、国・県に向かって益城町の現状を訴え、町民の皆様に少しでもお役に立てるよう全力を傾注してまいり所存でございます。今後とも、町議会に對しまして、一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、本年が町民の皆様にとりまして、復旧・復興がますます加速し、一日でも早く普段の生活を取り戻されることを心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成30年 新春